

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 令和6年11月18日（月） 午後7時15分 開議

場 所 宇治市役所大会議室

会 議 日 程

- 日程第1 会議録署名委員の指名について
日程第2 報告
日程第3 報告第11号 専決事項の報告について
日程第4 議案第15号 令和6年度宇治市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書を作成するについて

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

教 育 長 木 上 晴 之
(教育委員)

教育長職務代理者 加賀爪 毅
委 員 中 筋 斉 子
委 員 小 山 栄 子

(出席職員職氏名)

教 育 部 長	福 井 康 晴	教 育 部 副 部 長	川 崎 吉 隆
教育支援センター長	武 田 義 博	教 育 総 務 課 長	柯 慈 樹
学 校 教 育 課 長	安 留 岳 宣	教 育 支 援 課 長	堀 江 紀 子
学校改革推進課長	吉 川 貴 之	学校改革推進課担当課長	大 槻 翼
教育総務課副課長	渡 邊 聖 介	学 校 教 育 課 副 課 長	天 花 寺 裕
学校教育課総括指導主事	葛 山 雅	学 校 教 育 課 主 幹	垣 見 千 里
学校改革推進課副課長	平 山 幸 司	学校改革推進課総括指導主事	坂 上 敬 宣

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長 稲 垣 大 祐 教育総務課主査 北 池 颯 子

開 会 (午後7時15分)

○**開会宣言** 教育長が11月教育委員会定例会議の開会を宣言する。

○**日程第1** 会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、小山委員を指名する。

○**日程第2** 報告

- (1) 令和6年決算特別委員会について
 - (2) 文教・福祉常任委員会（令和6年11月13日）について
 - (3) 令和7年度教職員人事異動方針及び実施要綱について
 - (4) 令和6年度京都府公立学校優秀教職員表彰被表彰者について
 - (5) 「要望書」等について
 - (6) 宇治市教育委員会後援事業について
- 以上6件を報告する。

(1) 令和6年決算特別委員会について

(部局別審査：10月28日・実地調査：11月7日・総括質疑：11月11日)

[部局別審査]

10月28日に実施された。

[実地調査]

11月7日、給食センターの整備地と(仮称)乳幼児教育・保育支援センターの候補予定地(東宇治幼稚園)の実地調査が行われた。

[総括質疑]

11月11日に実施され、3名の委員より質疑があった。

○真田 敦史 委員

・担い手が不足する中での行政運営について

令和8年度に向けての意気込みや、デジタル活用による業務の改善効率化を図った教育全般の取組について。

○山崎 匡 委員

・給食センターについて

令和8年4月運用開始予定の給食センターの調理方式について。

○加勢 京子 委員

・不登校の保護者対策について

保護者支援、Ujiふれあい教室の拡充等について。

[質 疑] なし

(2) 文教・福祉常任委員会（令和6年11月13日）について

① 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

② 令和6年度京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～の結果について

○真田 敦史 委員

- ・京都府の学力テストがIRT方式で細かな分析ができるようになったが、効果的に活用していけるのか。
- ・家庭学習の定着や保護者との連携について、学校が伝えたいことが保護者に伝わりきれていない状況での情報発信について。
- ・家庭学習の定着には家庭との連携が非常に重要であり、様々なアプローチや手立てを考えてほしい。

○渡辺 浩司 委員

- ・非認知能力の結果活用の工夫や認知能力への対応の進め方について。
- ・読書時間を問う質問に関して、学校の授業以外での読書時間や学校での読書活動について。

○谷上 晴彦 委員

- ・ICT利活用調査が行われているが、その結果からどのようなことが明らかになったのか。
- ・週に何回ICTを活用しているのかの調査で何を明らかにしたいのか。また何回活用したかを調べることで、学力や学ぶ意欲の向上にどのようにつながるのか。
- ・ICT活用の再検討は必要ないのか。

○西川 美代子 委員

- ・課題のある問題を報告されているが、とても難しい問題である。言葉の使い方や表現力の育成は、いじめ、不登校、人間関係の問題にも関連する。何か対策を講じているのか。

○宮本 繁夫 委員

- ・学力・学習状況調査を、全国と京都府の両方でやる必要があるのか。どういった違いがあるのか。
- ・全国と府の二つあることで、学校現場で子どもや教員の負担があるのではないかと。調査の時期をずらす等が必要ではないか。

③ 令和7年度市立幼稚園園児募集入園願書受付状況等について

○西川 美代子 委員

- ・ケアが必要な園児は何人いるのか。
- ・園章デザイン応募者の思い等を後世に残していくほうが良いのではないかと。

○真田 敦史 委員

- ・支援が必要な子どもへの加配教職員を何名配置しているのか。また、来年の配置見込みについて。

- ・新規25名の志望理由やどの地域から応募されているのかを分析しているか。

○宮本 繁夫 委員

- ・各園で支援が必要な園児数等について。
- ・公立幼稚園では支援が必要な子が多いが、どういった教育をしようとしているのか。
- ・加配教員の人数の見込み、加配の考え方、支援が必要かどうかについてのルール化が必要ではないのか。
- ・支援が必要な子どもが多い状況を踏まえた保育が必要だと思うがどうか。

④ (仮称) 西小倉地域小中一貫校整備事業に伴う建築工事の変更契約に係る専決処分の報告について

⑤ (仮称) 西小倉地域小中一貫校整備事業に伴う電気工事の変更契約に係る専決処分の報告について

○渡辺 浩司 委員

- ・専決処分ならば、随意契約の中で間接経費等が削減されているのか。

⑥ (仮称) 西小倉地域小中一貫校整備事業について

○渡辺 浩司 委員

- ・校名選考は滞りなく行われたのか。
- ・選考委員会の議事録の公表について。
- ・「西小倉」は漢字やひらがな、カタカナいろんな表現の仕方があるが、比較の議論はあったのか。「にしおぐら」とひらがなで、ということへの意見はどのようなものがあったのか。

○西川 美代子 委員

- ・校名選考に応募された方への表彰を考えているのか。
- ・現在使用しているサブグラウンド北側の門の鍵等の防犯対策について。
- ・中学校前の交差点改良は、安全面をしっかりと確保されているか。
- ・制服や校歌は、部会を設けて決めるのか。

○谷上 晴彦 委員

- ・サブグラウンドの通用扉をいつまで使うのか。
- ・木津川市のニュースで給食センターの喫食時間が守れてないということがあった。宇治市はどのように考えているのかを早期に教えていただきたい。

○真田 敦史 委員

- ・工事が順調に進んでいると感じるが、ソフト面も含めて計画どおりに進んでいるのか。
- ・今後予定をしている条例改正や条例の中身やスケジュール等について。
- ・(仮称) 西小倉地域小中一貫校開校後の閉校する小学校等の活用について。

○宮本 繁夫 委員

- ・校名選考の応募では小中学生がどの程度応募したのか。
- ・投票結果や選考結果について、子どもたちの意見は反映されているのか。
- ・選考委員会のメンバーについて。
- ・給食センターに関して、喫食時間や配送の出発時間等について。
- ・交差点改良について、これまで信号設置ができないと聞いていたが、今回なぜできるようになったのか。
- ・交差点改良に伴い歩道が変更になることでの安全面について。
- ・信号機が設置されるが、歩行者だまりがなくとも安全面は大丈夫なのか。
- ・(仮称)西小倉地域小中一貫校の通学路は決定しているのか。早く保護者へ伝えるように。
- ・工事に使用している大型クレーン車について。
- ・工事の騒音測定について。

[質 疑]

[委 員] 案件①②に関して、IRT方式とCBT調査の違いは何か。

[事務局] 「CBT」はコンピューターベースのテスト、一人一台端末を用いたテストである。「IRT」は項目反応理論に基づいて、問題毎に難易度が設定されていることから、経年比較で子どもたちの学力の伸びが測定できるテストである。

[委 員] 同じ学力テストで、IRT方式で細かな分析ができ、CBT調査でコンピューターをベースにして行っているということか。

[事務局] 同じテストであるが、IRT方式は分析の手法と捉えていただけたらと思う。CBT方式は宮本委員よりテスト自体への負担感があるのではというご質問があったが、すぐにデータとして結果も得られ、負担があまり発生しないという観点でお答えした。

(3) 令和7年度教職員人事異動方針及び実施要綱について

[説 明]

令和6年11月12日付で京都府教育委員会より、令和7年度の教職員人事異動方針及び実施要綱が通知された。人事異動方針については、昨年度から3点の見直しがある。

- ①教職員一人一人がやりがいと達成感をもって全ての子ども達へのよりよい教育の実現を目指せるよう、学校の指導・運営体制の充実や学校における働き方改革を更に推し進めるといふ、中教審の答申を踏まえ、府の方向性が明記された。
- ②「魅力ある府立高校づくり推進基本計画」を踏まえ文言が整理された。
- ③教職員の年齢構成が大きく若返る中、特に40代後半の校長や40代前半の教頭も発令されるなど、管理職も大きく若返っている状況を踏まえ、「適材適所」だけでな

く「人材育成」を意識し、多様な経験を積ませるなど、将来の学校の指導・運営体制を見通した配置に努めることが記載された。

実施要綱については、昨年度からの変更点はない。

各学校長には、11月20日に校長会議を開催し、説明する予定である。

なお、人事関係の今後の日程については、3月17日内示、4月1日辞令交付の予定である。

[質 疑] なし

(4) 令和6年度京都府公立学校優秀教職員表彰被表彰者について

[説 明]

本制度は、平成14年度に創設されたもので、宇治市では、昨年度までに合計55名が受賞している。今年度は、一般教職員部門において、槇島中学校の関 和也 教諭、若手・新進教職員等奨励部門において、南宇治中学校の笹田 隆広 教諭の合計2名が受賞した。なお、表彰式は、去る11月14日に京都府庁第3号館で実施され、府内49名3団体が受賞された。

[質 疑] なし

(5) 「要望書」等について

[説 明]

槇島中学校生徒会より、「大阪万博プロジェクト」に関する要望書の提出があった。

[質 疑] なし

(6) 宇治市教育委員会後援事業について

[説 明]

京都市南ライオンズクラブ主催の「京都市南ライオンズクラブ 第27回KJ杯争奪中学生サッカー大会」のほか13件、計14件の事業について後援を承認した。

[質 疑] なし

○日程第3 報告第11号 専決事項の報告について

[説 明]

本件については、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第2項の規定により報告するものである。

宇治市学校運営協議会委員の解任について、宇治市教育委員会事務委任等に関する規則第4条第1項第4号の規定により、専決処分を行った。

学校運営協議会委員については、宇治市学校運営協議会設置規則第8条第2項の規定により、当該校の校長から推薦を受け、教育委員会が任命しているが、今回、4月1日付けで任命した委員の死去に伴い、同規則第9条第2項の規定により、解任した。したがって、学校運営協議会委員は合計266名となった。

[質 疑] なし

○**日程第4** 議案第15号 令和6年度宇治市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書を作成するについて

[説 明]

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、平成20年4月1日から、全ての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することが義務付けられており、令和5年度の実施事業についての報告書をまとめるにあたり、本委員会に諮るものである。また、本報告書をまとめるにあたり、教育に関する学識経験のある外部委員として、京都教育大学大学院 連合教職実践研究科の竺沙知章 教授及び同志社女子大学教職課程センターの水本 徳明 特任教授より、ご意見・ご助言等をいただいた。

P2「はじめに」では、点検評価の趣旨、並びに点検評価の対象及び方法を記載している。P3「教育委員会の活動状況」では、教育委員会会議の開催状況として処理議案および報告案件を記載し、P7からは教育委員の活動状況として学校・幼稚園訪問や各種行事、会議・研修等への出席などについて記載している。

P9からP66までは「教育委員会の所管する事務事業の管理・執行の状況」を記載している。P10・P11に「第2次宇治市教育振興基本計画」の施策体系を示し、P12以降、「第2次宇治市教育振興基本計画」の7つの施策ごとに各施策の基準値、実績値、目標値を一覧表形式で記し、その後に取り組の効果、今後の方向性・課題等、外部委員評価・意見等を記している。また、各施策の評価資料として、主な取組事業の成果説明を加えている。

P67・P68には、外部委員による総括意見を記載している。外部委員からは、施策ごとにも様々な評価・意見をいただいているが、P68の総括意見では、2段落目には、「令和5年度の活動状況を見ると、市長部局と連携して取り組まれているものが目立つようになり、教育委員会の活動の範囲が広がりつつあるという印象を強く受けた。」と記述されており、3段落目では、「その中で就学前の教育に関する活動が注目される」として、乳幼児教育・保育推進協議会の設置による施設類型を超えたネットワークの構築や、家庭支援を強化するために福祉部局と連携を進めることについて評価をいただいた。また、4段落目では、インクルーシブ教育システムの構築をはじめとした「多様な学びの機会や支援の提供に積極的に取り組んでいることも注目される」としていただいている。一方で、5段落目においては、乳幼児教育・保育推進協

議会の活動状況について、教育委員会による点検評価が把握できなかった点についてご指摘をいただいた。

本議案は議決後、宇治市議会に報告書を提出し、市民の皆様へはホームページに掲載し公表する予定としている。

[質疑・討論]

[委員] 乳幼児教育・保育推進協議会についての活動状況については、来年度は入れていく予定なのか。

[事務局] 乳幼児教育・保育についての記載がないというご指摘をいただいたので、工夫をすべきところであると考えている。各施策にまたがっている事業ではあるが、例えば、各施策の推進状況の一覧表内「取組の効果」「今後の方向性・課題等」に記述欄があるので、そういったところを活用して記載していきたいと考えている。

[委員] 竺沙教授には、長期間、本市の評価に関わっていただき、建設的なご意見や取組に対する評価をいただいている。それだけではなく、今回の課題もご指摘いただき、教育委員会での取組について外部の方に評価していただくことは有意義なことであり、これを参考にしながら、より充実していければ良いと思う。

[採決] 採決の結果、全会一致で可決する。

○**閉会宣言** 教育長が11月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後7時45分)